

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年3月21日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	8週	9週	10週	11週	警報レベル	注意報レベル	基準値
	2月19日～2月25日	2月26日～3月3日	3月4日～3月10日	3月11日～3月17日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	11	17	7	26	30	10	10
	3.67	5.67	2.33	8.67			
新型コロナウイルス感染症#	43	54	35	24	-	-	-
	14.33	18.00	11.67	8.00			
RSウイルス感染症	0	0	1	1	-	-	-
咽頭結膜熱	2	3	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	5	12	7	8	4	-
感染性胃腸炎	20	11	9	6	20	12	-
水痘	0	0	1	0	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	-	◎	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	Ⅰ	3/20～3/26	282人
前週	Ⅰ	3/13～3/19	323人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザは前週より増加しました。
- ・新型コロナウイルス感染症は前週より減少しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌)は前週より減少しました。
- ・感染性胃腸炎は前週より減少しました。

【集団発生情報】

高齢者施設3か所から、新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム～風疹～】

- ・発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。
- ・麻疹と異なり、症状が出ない不顕性感染が一定数存在します(15～30%)。
- ・基本的には予後良好な疾患ですが、血小板減少性紫斑病などの合併症をきたすことがあります。
- ・予防にはワクチンが有効で、1歳と小学校入学前1年間の幼児(6歳になる年度)の2回接種します。
- ・風疹に感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると胎内感染がおり、出生児が先天性風疹症候群を発症する可能性があります。
- ・先天性風疹症候群では白内障、先天性心疾患、難聴の3大症状以外に、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球が報告されています。
- ・母が無症状であっても、先天性風疹症候群が発生します。
- ・風疹の地域流行がおこると、それにやや遅れて先天性風疹症候群の発生が増えます。
- ・先天性風疹症候群の発生を防ぐためには、男女ともにワクチンを受けて、まず風疹の流行を抑制し、女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要です。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 📠0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>